

大阪 あちこち

●牛滝山大威徳寺

南海岸和田駅から牛滝山行きの南海バスに乗って約50分、終点の牛滝山バス停で降りると、牛滝山大威徳寺の門前に着きます。大威徳寺は、役行者が開創したと伝えられる古刹（古い由緒ある寺）で、平安時代には弘法大師や比叡山の恵亮和尚がこの地で修行したと伝えられています。牛滝山の山号は、恵亮和尚が山内の滝で修行中に、牛に跨った大威徳明王が出現したという伝承から名づけられたものです。

和泉葛城山脈から金剛山・大和葛城山・二上山へと連なる山系一帯は、古くから修験道の霊場とされ、室町時代にはこの山中に役行者が法華経を埋納したという葛城28宿が定められて、多くの修験者が回峰しました。大威徳寺はその霊場の一つとされています。本堂は山頂から下ってくる修験者を迎えるように、山頂方向に開かれています。

江戸時代までは、天台宗と真言宗の両方に属し、境内には多くの坊・院が立ち並んでいましたが、明治末期以後は天台宗のみとなり、現在は本堂・多宝塔などわずかな堂舎を残すのみです。多宝塔は室町時代の建立で、国の重要文化財に指定されています。また、境内一円は古くから紅葉の名所として知られ、多宝塔が紅葉に映える姿は今も多くの人々を魅了しています。



大威徳寺山門



多宝塔

大威徳寺山門をくぐってすぐ右に分岐する道は、和泉葛城山頂方面への登山道です。この道は、1町（約109m）ごとに路傍に石仏（地蔵）が立っており、「地蔵さん道」とよばれています。また、近くには温泉宿泊施設「牛滝温泉いよやかの郷」もあり、登山後の汗を流すこともできます。



▼お問い合わせ先▼

岸和田市教育委員会郷土文化室

TEL 072-423-9689